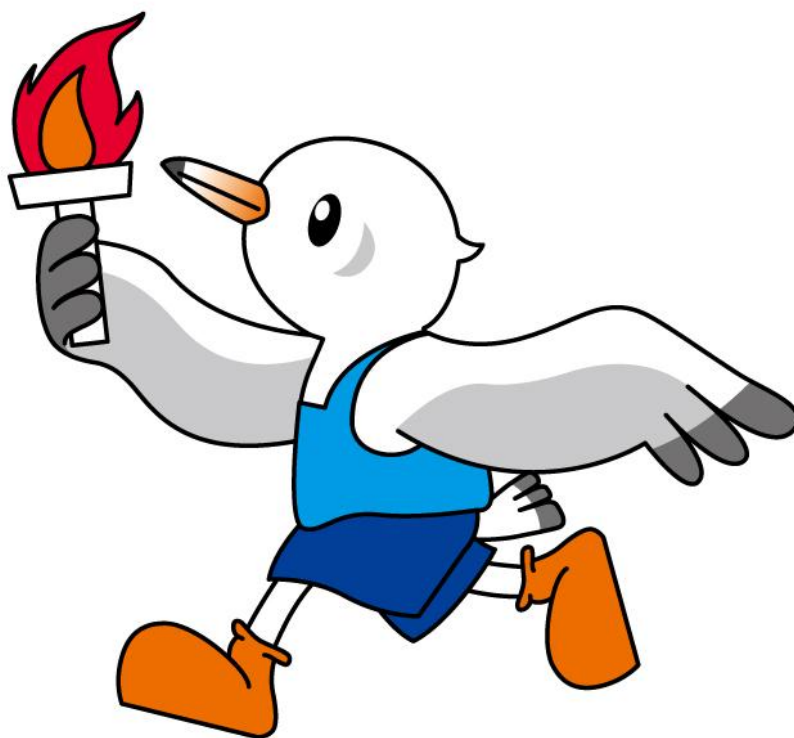




第68回国民体育大会

スポーツ祭東京2013武蔵村山市実行委員会

第2回競技式典専門委員会



東京に 多摩に 島々に 羽ばたけアスリート

スポーツ祭東京2013

日時 平成24年11月22日(木)

午後7時00分開会

場所 中部地区会館403集会室

目 次

○報告事項	
報告事項 1 1
第 6 8 回国民体育大会ハンドボール競技リハーサル大会 「第 1 7 回ジャパンオープンハンドボールトーナメント」実施報告	
報告事項 2 1 4
ぎふ清流国体ハンドボール競技視察報告（皇族御覧含む）	
報告事項 3 2 7
広報活動について	
・各種イベントでの活動（平成 2 4 年度内）	
・気運醸成開催記念事業について（バスラッピング・街頭フラッグ・カウントダウンボード）	
報告事項 4 3 0
協賛について	
○協議事項	
協議事項 1 競技運営関係業務について	
I スポーツ祭東京 2 0 1 3 武蔵村山市競技運営要項（案） 3 4
協議事項 2 式典関係業務について	
I スポーツ祭東京 2 0 1 3 武蔵村山市式典実施要項（案） 4 2

スポーツ祭東京2013武蔵村山市実行委員会
第2回競技式典専門委員会

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

- (1) 第68回国民体育大会ハンドボール競技リハーサル大会「第17回ジャパンオープンハンドボールトーナメント」実施報告
- (2) ぎふ清流国体ハンドボール競技視察報告（皇族御覧含む）
- (3) 広報活動について
- (4) 協賛について

4 協議事項

- (1) 競技運営関係業務について
- (2) 式典関係業務について

5 閉 会

報告事項1 第68回国民体育大会ハンドボール競技リハーサル大会

「第17回ジャパンオープンハンドボールトーナメント」実施報告

○実施日

平成24年8月10日(金)・11日(土)

○競技会場

武蔵村山市総合体育館

○大会開催までの準備について

(1)大会開催ポスター・チラシの作成及び各施設への配布

大会開催を広く周知するために、大会開催ポスターとチラシを作成し、市内公共施設及び市内循環バス車内に掲示、イオンモール等商業施設へ掲示依頼し、市内小中学校、市内高校、特別支援学校、都内中学校・高校ハンドボール部、都内小学生ハンドボールチームへチラシを配布した。



(2)消防訓練の実施

7月30日(月)、午前11時10分～午前11時40分、火元を2階機械室に設定し、消火、通報連絡、避難誘導等一連の訓練及び消防署員による訓練用消火器の実演および使用体験を行った。

総合体育館職員及び体育館利用者約30名による消防訓練を実施。

消防訓練の前には、消防署職員による査察が行われ、改善指導を受け対応した。大会開催前日にも視察が行われた。



(3)花いっぱい運動について

7月30日(月)～8月5日(日)、花の栽培ボランティア、市内幼稚園・保育園・小中学校・高等学校、特別支援学校が栽培したプランターを総合体育館に収集し、8月8日(水)に、第五中学校ハンドボール部員による、競技会場周辺にプランター設置を行い、同時に市内花栽培団体による「ゆりーと」のフラワーデコレーションを設置した。





(4) 歓迎・装飾運動について

市内の各所に横断幕、のぼり旗、卓上のぼり旗等の設置を行った。8月8日(水)には、第五中学校ハンドボール部員による、競技会場周辺に歓迎のぼり旗を設置した。また、市内児童館の児童作成による歓迎掲示物を体育館入口に掲示した。





(5) 競技会場の設営について

本市の競技会場では、スポーツコートを設置した。スポーツコートの設置については、都立武蔵村山高校ハンドボール部、市立第五中学校ハンドボール部、総勢40名で行った。

8月6日（月）午前9時から午後3時まで、約5時間かけて設置した。

8月12日（日）午前9時から午後12時30分まで、約3時間30分かけて、都立武蔵村山高校ハンドボール部員の協力で解体した。



(6) 会場の設営について



会場設営については、業者へ委託し、総合体育館及びその他の会場を大会仕様に設営した。





○大会当日の対応について

(1)実施本部について

部	班	担当	主な業務内容	業務の様子
総務広報部	総務班	総務担当	<ul style="list-style-type: none"> ・実施本部の総括及び業務全般に関すること。 ・運管用物品の調達、管理に関すること。 ・来賓・役員の接待に関すること。 ・拾得物・遺失物・迷子に関すること（受付案内班から引継ぎ後）。 ・緊急事態への対応に関すること。 ・他の班に属さない業務に関すること。 	 
	広報記録班	広報記録担当	<ul style="list-style-type: none"> ・会場内の記録写真等に関すること。 ・報道機関との連絡調整に関すること。 	

	会場班	<p>会場担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観客、チーム関係者等の整理、誘導に関すること。 ・看板、掲示物等の管理に関すること。 	 
	受付案内班	<p>受付案内担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会関係者の受付及び案内に関すること。 ・会場案内（競技会場・競技案内等）に関すること。 ・観光案内及び物産品の紹介に関すること。 ・交通、輸送等の案内に関すること。 ・拾得物・遺失物・迷子に関すること。（総務班との連絡調整） 	  

	<p style="text-align: center;">弁当班</p>	<p>弁当担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弁当の引換、回収に関する事。 ・選手等チーム関係者への飲料水の提供に関する事。 	 
<p style="text-align: center;">宿泊輸送部</p>	<p style="text-align: center;">医療救護班</p>	<p>医療救護担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会関係者等に傷病者がでた場合の応急処置、その他救急業務に関する事。 ・医療機関への移送に関する事。 ・医薬品等の管理に関する事。 	
	<p style="text-align: center;">交通駐車場班</p>	<p>交通駐車場担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場、駐輪場への誘導及び競技会場等への案内に関する事。 ・駐車場、駐輪場の管理に関する事。 	 

	<p style="text-align: center;">防災警備班</p>	<p>防災警備担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場内の巡回及び不審者・不審物の発見に努めること。 ・会場内の巡回を行い、万が一災害が発生した場合は、大会参加者等の避難誘導等に関する事。 ・緊急時、警察および消防への対応に関する事。 	
<p style="text-align: center;">競技式典部</p>	<p style="text-align: center;">競技記録班</p>	<p>競技記録担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他区市会場への定期連絡及び他区市会場の情報収集に関する事。 ・記録速報板への掲示に関する事。 ・記録速報箱の設置及び記録用紙の配布に関する事。 	 
	<p style="text-align: center;">環境美化装飾班</p>	<p>環境美化装飾担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場内の美化・清掃に関する事。 ・ごみの収集及び整理に関する事。 ・プランターの水やりに関する事。 ・プランター及びのぼり旗の設置、撤去に関する事。 	 

アップ会場班	都立武蔵村山高等学校担当	<ul style="list-style-type: none"> ・アップ会場の管理に関すること。 ・アップ練習時間の管理、選手の誘導に関すること。 	
--------	--------------	--	--

(2)休憩所について

一般観覧者の方に疲れを癒していただくために休憩所を設置した。



(3)売店について

7月1日から募集を行い、9店舗を出店した。地元の店舗は3店舗で、その他は市外の店舗であった。



(4)大会開催中のイベントについて

大会を盛り上げるために、様々なイベントを行った。

- ・先着100名の来場者に「ゆりーとキーホルダー」配布

大会開催両日のそれぞれ、先着100名（2日間200名）に「ゆりーとキーホルダー」の配布を行った。



・ 7m スロー大会

大会2日目の準々決勝終了後、午後1時から7m スロー大会を開催した。



・ ゆりーとダンス「ニッコリ・ファイト！」披露

武蔵村山市ストリートダンス連盟によるスポーツ祭東京2013のイメージダンス「ニッコリ・ファイト！」の披露を行った。



(5) 来場者数

8月10日 (金)	4試合	延べ	約760人
8月11日 (土)	3試合	延べ	約910人

合計 1,670人

○総合開会式

総合開会式は、平成24年8月9日（木）、墨田区のすみだリバーサイドボールで開催された。武蔵村山市からは、副市長が出席した。



○武蔵村山市の試合結果

1日目：8月10日(金)

1回戦

香川銀行 T・H(香川県) 29(14-11,15-8) 19 ninfa・kagoshima(鹿児島県)

野辺地クラブ (青森県) 23(7-11,16-7) 18 かぶら女子ハンドボールクラブ (群馬県)

JJ GANG (福井県) 30(16-10,14-12) 22 梅の家 (東京都)

京都クラブ (京都府) 26(11-11,15-11) 22 シヤトレーゼ HC (山梨県)



2日目：8月11日(土)

準々決勝

香川銀行 T・H(香川県) 40(23-6,17-12) 18 野辺地クラブ (青森県)

京都クラブ (京都府) 22(13-13,9-8) 21 JJGANG (福井県)



準決勝

香川銀行 T・H(香川県) 3 9 (23-6,16-7) 1 3 京都クラブ (京都府)



※最終結果

区 分	男子の部	女子の部
優 勝	Honda (三重県)	香川銀行 T・H (香川県)
準優勝	長崎社中 (長崎県)	H C 高山 (岐阜県)
第三位	H C 岐阜 (岐阜県)	徳山クラブ (山口県)
第四位	F S T (東京都)	京都クラブ (京都府)

○女子の部表彰式・閉会式

決勝戦が終了した後、女子の部の閉会式・表彰式を多摩市総合体育館で実施した。武蔵村山市からは、副市長、体育協会会長が出席。優勝チームには、開催区市賞として、開催市の特産物が贈られた。(多摩市：ハロキティーのマスコット、武蔵村山市：村山かてうどん)



○まとめ

2日間としまして、大会に参加した選手・監督等チーム関係者へ、武蔵村山市へお越しいただいた少しばかりのおもてなしと、大きな怪我もなく大会を開催できたこと、東京都及び日本ハンドボール協会をはじめとする大会関係者から、大会会場や運営に関しての高評価をいただいたこと、また市職員及び市民ボランティア、また来場していただいた多くの市民に、国体の雰囲気と、ハンドボールの魅力を体感していただき、来年の国体開催に期待を膨らませられたことから、本大会は大成功であったと言える。

全体的な評価は高かったものの、本来のリハーサル大会の目的である大会運営能力の向上という面においては、競技団体との綿密な調整、市職員との情報の共有化というところに改善の必要がある。今大会では実施しなかった業務(行幸啓、式典・

表彰、計画応援、おもてなし、練習会場等) に関しては、国体での対応が最初で最後の業務となるため、先催県の事例若しくは、他区市を参考に綿密な計画及び準備をしなければならない。今大会での課題や成功事例を来年の本市の国体開催に十分に活かし、準備を進めていきたい。

報告事項 2 んふ清流国体ハンドボール競技視察報告

第68回国民体育大会「スポーツ祭東京2013」ハンドボール競技の大会運営は、市をはじめとする関係各界各層の参画による実行委員会が担うことから、これらの体制の要となる市職員等が先催県の実態を視察することはとても重要である。

第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」ハンドボール競技等を視察し、今後の準備における取り組みの参考とすることを目的とする。

○視察日

平成24年10月4日（木）～9日（火）

○視察先

- ・桜ヶ丘体育館（飛騨市）
- ・飛騨高山ビッグアリーナ（高山市）
- ・世界生活文化センター（高山市）
- ・中山中学校（高山市）
- ・下呂交流会館（下呂市）
- ・その他

○視察内容

「第67回国民体育大会ハンドボール競技」試合会場他・周辺状況などの確認等。

○視察員

副市長 山崎 泰大	企画財務部長 比留間 多一	生活環境部長 内野 正利	教育委員会教育部長 河野 幸雄
生涯学習スポーツ担当部長 小川 和男	総務契約課長 高尾 典之	秘書広報課長 小林 真	産業観光課長 峯尾 正彦
教育総務課長 中野 育三	健康推進課長 有山 友規	出張所担当課長 諸星 裕	道路公園課長 神子 武己
文書情報課長 田代 篤	企画政策課長 比留間毅浩	財政課検査担当課長 福井 勇	障害福祉課長 登坂 正美
環境課長 鈴木 毅士	地域福祉課長 石川 浩喜	教育指導課長 小寺 康裕	国体推進室長 鈴木 浩
国体推進室 主査 平野兼一	国体推進室 主任 外園元紀	総務契約課 石井 勝成	スポーツ推進委員協議会 会長 川島 良夫
体育協会会長 宮下 清住	体育協会副会長 堀田 兼光	体育協会副会長 有吉 正博	交通安全協議会会長 比留間 勇

○視察報告

・開始式（高山自動車短期大学）

10月4日（木）、高山市の高山自動車短期大学にて開始式が行われた。開始式の前には、地域の保育園児によるミナモ体操が行われ、その後開始式となった。

開始式の司会は、高山市の職員が行っていた。各会場副市長が出席。挨拶は、高山市副市長が代表して挨拶した。開始式自体は、約30分で終了。出場チームから2名ずつ出席していた。開始式終了後代表者会議を行っていた。



・飛騨高山ビッグアリーナ（高山市）

ハンドボール競技のメイン会場となった飛騨高山ビッグアリーナ。仮設席も用意されており、1500席はあったようだ。平日は計画応援が行われていたが、観客席すべてが埋まるほどではなかった。ただし、地元岐阜県の試合のときは、超満員状態。立ち見もあり、1500席が埋まるほどの盛況ぶり。ただし、岐阜県の試合以外はまったくであった。

計画応援（市内小中学校の生徒の学校観戦）も行っていた。応援するチームを決めて応援していたので、歓声と会場の一体感が非常にあって、国体を開催しているといった雰囲気があった。

コートは、モルテンのシールコートであった。バスケットボール競技の後にハンドボール競技があり、中1日で準備を行わなければならなかったため、スポーツコートは敷くことができなかったとのこと。

日体協からの依頼で、オリンピック招致関係のオフィシャルサプライヤーの企業名がコート側に掲げられてあった。

アップ会場があったが、柔道場をアップ会場としていた。（写真は、畳を敷いているが、大会開催時は、畳を撤去していた。）サブアリーナは、競技会補助員の控室になっていた。使用したチームがあったのかは確認できていない。

選手の控室は6部屋。3試合分の控室を用意していた。例年の国体同様である。

観客席は土足でも大丈夫だったが、選手・役員等しか入れないエリアは、土足禁止であった。

松やに対策は、いたるところにしてあったが、選手自身が気を使うということで、必要最低限の対策をしていた。選手が通る階段も真ん中だけ養生したり、ドアの取っ手もアバウトにテープを巻いていたり、さほど松やにを気にしているようには見えなかった。



歓迎装飾は、会場には設置してあったが、会場までの道路や会場周辺にはほとんどなかった。会場も基本的に必要最低限といった感じがした。応援のぼり旗、歓迎プランターなどあったが、数も少なくあまり目立っていなかった。昨年の山口国体、周南市では選手や家族等で歓迎装飾の前で写真を撮る人が見受けられたが、今回は見られなかった。





売店は、全部で30テント並んでいた。20店舗がスポーツ用品関係、ミナモグッズ、お土産等で、10店舗が飲食関係であった。



おもてなしは、休憩所のそばで行われていた。視察当日も焼き団子をふるまっていた。



選手・関係者・役員等の駐車場は会場周辺（200台）に、一般車両は高山総合庁舎（1000台以上）の駐車場に止めることになっていた。無料シャトルバスがあり、高山駅→総合庁舎→ビックアリーナ→中山中→ビックアリーナ→総合庁舎→

高山駅のルートと、高山駅→飛騨・世界生活文化センター→高山駅のルートがあった。シャトルバスは大型バスで、総合庁舎からの利用はあったが、駅からは少なかったように感じた。



幹旋弁当を食べてみた。例年の国体幹旋弁当は、地のものを使った弁当になっていたが、特にそのような明記もなく、普通の弁当だったように感じる。弁当を包む紙には、市内で募集した国体のポスターデザインコンテストで入賞した絵を載せてあった。



毎年、日本ハンドボール協会から依頼のある「7mスローコンテスト」が開かれていた。

キーパーはミナモで、参加した子供たちは楽しそうだった。



各種表彰は、準々決勝が終了した後に、5位表彰。3位決定戦と決勝戦が終了した後に部門別の表彰式が行われた。

5位表彰は、準々決勝の4試合それぞれの試合が終了した後、負けたチームを5位として表彰していた。各部門ごとに、3位決定戦と決勝戦が終了した後、部門別

の表彰を行った。1位から4位まで、賞状とミナモバージョンのさるぼぼ（飛騨高山地方の縁起の良いお守り）を渡していた。優勝チームには副賞として、飛騨牛・お米・トマトジュースを渡していた。



・世界生活文化センター（高山市）

高山市のハンドボール会場3会場のうち、少年女子の準決勝まで3日間行われた会場である。元々、展示会、芸能公演、講演会等が開催される芸術・文化施設の要素が強い施設である。多目的ホールとして使用しているため、床にはスポーツコートが敷かれていた。

観客席は、コート側にパイプ椅子で200席ほどだろうか、片方のゴール裏にパイプ椅子で100席ほど用意していた。

学校計画応援がここでも行われており、熱心に生徒たちが応援していた。

来年の開催地の東京都代表は、惜しくも準々決勝で敗れ5位であった。来年の活躍を期待したい。

会場周辺には、のぼり旗や歓迎プランターなどきれいに装飾されていた。

おもてなしは、ここでは豚汁がふるまわれていた。

売店は、10店舗あり、スポーツ用品、ミナモグッズの店が主であった。

駐車場は広く、200台ほどとめられる規模の駐車場であった。





・高山市立中山中学校

少年女子・男子の1回戦、2回戦を行った会場である。平日の開催ということで、市立中学校ということもあり、通常学校が行われながらの国体開催であった。非常にきれいな学校であった。数年前に建て直されたばかりで、体育館等も通常公共施設として使用されているようだ。2日間の開催ということで、3日目以降は駐車場として使用されていた。

売店もしっかり設置されており、歓迎装飾もオリジナリティあふれるものがあったりと、コンパクトであったが、しっかり会場設営がされていた印象であった。





・桜ヶ丘体育館（飛騨市）

飛騨市の会場は、古い施設であることと、またハンドボールコートがギリギリとれる会場ということで、非常にコンパクトかつ、単純な会場設置であった。観客はコート横に仮設スタンドを設置しておりおおよそ100席ほどだろうか。一般客の出入りは1か所。また役員・選手の入るところとは、完全に区別していた。また、ハンドボール界では有名な選手である、宮崎大輔選手が来るということもあり、土・日・月は整理券の発行をしていた。飛騨市の桜ヶ丘体育館は、中学校と隣接しているということで、中学校の校庭を使って、おもてなしや売店、駐車場を設置していた。





・下呂交流会館（下呂市）※情報提供分

非常に大きな会場、新しい会場であった。市民会館なるものが一緒にある複合施設であった。売店が多く建ち並び、さすがに観光地、温泉地と、お店の方々もおもてなしに慣れている感じがした。下呂市は、成年女子の開催であった。

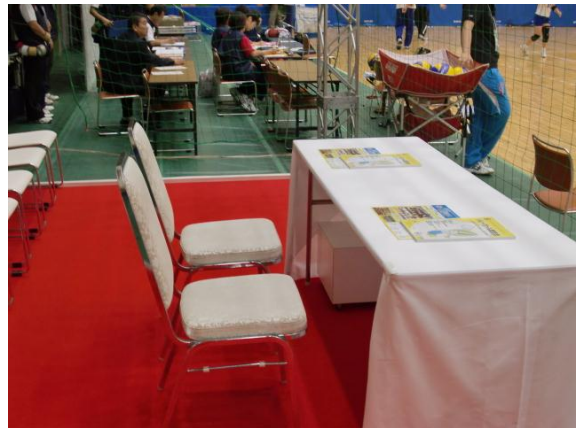
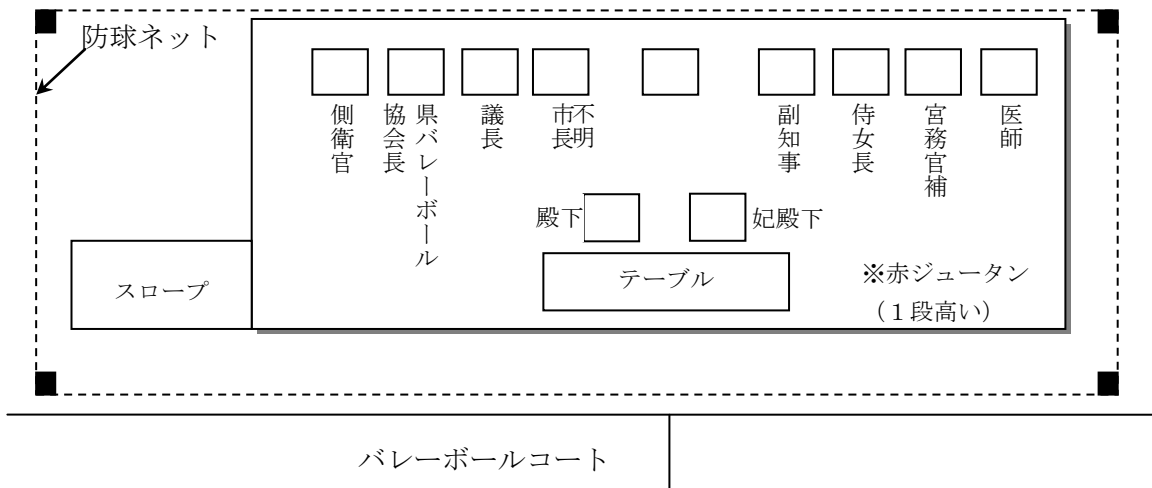


・行幸啓、お成りについて ※視察員からの情報提供分

ハンドボール競技が行われた飛騨市、高山市、下呂市では皇族の御覧がなく、バレーボール競技（成年女子）が行われた美濃加茂市の視察に行ってきた。

- 1 日 時：平成24年10月5日（金）10時～正午
- 2 会 場：岐阜県美濃加茂市「プラザちゅうたい」
- 3 種 目：バレーボール成年女子
- 4 視察者：企画財務部長（比留間）、秘書広報課長（小林）、国体推進室（外園）
- 5 行幸啓した者：常陸宮殿下、同妃殿下

6 ロイヤルボックスの配置図



7 気付いたもの

- ① 市長？（もしかすると副知事）が先導し入場した。
- ② 入場の際には、小旗による歓迎や歓声などはなかった。また、これを促す放送もなかった。
- ③ 殿下・妃殿下の後ろに着座した者が、始終説明を行っているように見えた。
- ④ 観覧時間は20分程度（1セットのみ）であった。
- ⑤ 殿下の動線上は、選手、大会関係者、来場客の関係なく立ち入りはできないようにしていた。また、閉鎖するに当たっては、会場内に入るとこれから1時間は外に出ることはできないとの説明を行っていた。
- ⑥ 会場内に続く通路は、入場の30分前から退場までの間は閉鎖した。
- ⑦ 入場するにあたって、持ち物検査はなかった。
- ⑧ 警護については、施設内は私服警官が死角のないように配置されていた。施設外は不明。
- ⑨ お成りの自動車は5台であった。
- ⑩ お出迎えとお見送りは確認できず。
- ⑪ 御休所は、パネルで仕切った4畳程度のものであり、椅子2脚、小テーブル2台、荷物置き2台、靴べらが備えがあるのみの質素なものであった。

御休所配置図



8 考察

敷地内には、行幸啓があることを知らせるものはなく、会場に入るときにも手荷物検査等はなかった。また仰々しい雰囲気もなかった。周りに気を付けて目をやると私服警官が配備されていることぐらいが気になった程度である。ロイヤルボックスの配置場所は、本来、2階観客席の一部に設置すべきものと思われるが、行幸啓された常陸宮殿下の歩行が芳しくなく、また2階へのエレベーターないことや観客席が階段状になっていることから、階段を利用せずに入退場できる1階のコートわきに設置したのではないかと推察できる。

いずれにしても客観的に見て必要最低限の対応であったのではないかと感じられた。しかし、行幸啓される方が陛下と殿下では、供奉員、随従員の数さらには観客数も違うことが考えられたため、来年度の本市開催時には、陛下、殿下に問わず対応できるよう準備しておくことと、誰がいつ行幸啓されるかについての情報収集に努めるべきであると考えます。

○まとめ

昨年の山口国体同様、平成の大合併で、市町村が少なくなり、各自治体 1 種目ではなく、2 種目も 3 種目も担当するため、経費も労力も要する。高山市はハンドボール競技、バスケットボール競技、アーチェリー競技、飛騨市はサッカー競技、ラグビー競技、ハンドボール競技、下呂市はソフトボール競技、ハンドボール競技と複数種目の開催地であった。各市で綿密な大会運営とできる限りのおもてなしを行っていたが、高山市に見られるように、高山まつりと国体開催日が重なったりし、非常に大変だったと聞いている。東京国体は基本的には種目が重複するところは少なく、1 自治体 1 種目がほとんどである。本市においても正式競技はハンドボールのみということなので、山口国体、岐阜国体のハンドボール競技開催市に比べれば、もっと中身の濃い大会運営ができる。

本市は「人と人との絆を大切に」をモットーにしたまちづくりが進められており、国体運営も来場者へのおもてなしを特別なものにし、来ていただいた人に本市の文化や自然にも触れてもらい、思い出深い国体になるよう準備を進めたい。

報告事項3 広報活動について

スポーツ祭東京2013武蔵村山市広報計画（平成24年4月6日第2回常任委員会決定）に基づき、大会開催の意義を広く市民に周知し、その理解を深めるため、市民・事業者・行政の協働による計画的・効果的な広報活動の推進を図った。

・各種イベントでの活動（平成24年4月から11月まで）

実施日	事業名	内容
5月3日（木） ・4日（金）	東京都社会人ハンドボールリーグ戦	大会選手等へリハーサル大会の啓発用ポケットティッシュ200個配布。
5月12日（土）	ドリームフェスタ2012in 武蔵村山	ハンドボール教室が行われた。ゆりーとダンスの披露。啓発用ポケットティッシュ200個・うちわ200枚配布。
	東京都中学校ハンドボール春季（多摩地区）大会	大会選手等へ啓発用ポケットティッシュ200個・うちわ100枚を配布。
5月13日（日）	市民歩け歩け大会	東京都ウォーキング協会の協力を得て、国体PRを行う。啓発ボールペン200個配布。
5月27日（日）	クリーン作戦	総合体育館周辺の清掃活動及びクリーン作戦参加。総合体育館に参加の人には、ゆりーと軍手40枚、うちわ60枚、クリーン作戦の青少対等へ啓発用ポケットティッシュ240個配布。
6月17日（日）	東京都少年少女ハンドボール大会	大会参加者等へ、啓発用ポケットティッシュ200個・クリアファイル200枚・うちわ200枚配布。
7月2日（月）	武蔵村山市キャッチフレーズ・ポスターデザインコンテスト募集	キャッチフレーズ・ポスターデザインコンテストを実施し、優秀な作品はポスターにして、市内での国体啓発を行う。
7月7日（土）	平成24年度市立中学校総合体育大会開会式	開会式の後のエキシビジョンマッチ（ハンドボール）でゆりーとを登場させ、啓発活動を行った。
7月14日（土）	青少年補導連絡会チラシ配り	青少年補導連絡会が市内5店舗（イオンモール、ダイエーなど）で、チラシを配布。その際、チラシ400枚・ティッシュ400個・クリアファイル400枚配布。
7月15日（日）	納涼盆踊り大会	民踊連盟の皆さんと「ゆりーと盆踊り」を披露。チラシ100枚・うちわ100枚・ティッシュ100枚配布。

7月22日(日)	ゆりーとダンスフェス in イオンモール	イオンモールで、市内ダンスチームによるダンスフェスを開催。ゆりーとダンスで啓発を行った。啓発用うちわ800枚配布。
8月5日(日)	市総合体育大会開会式	大会開会式にゆりーとを出席させ、国体のPRを図った。リハーサル大会の告知を行った。チラシ100枚・ティッシュ100個・うちわ100枚を配布。
8月10日(金)・11日(土)	第17回ジャパンオープン ハンドボールトーナメント	本大会のリハーサル大会の実施。2日間先着100名にオリジナルゆりーとキーホルダーを配布。
8月25日(土)	納涼花火大会	来場者にうちわ300枚配布。
9月2日(日)	福祉まつり	来場者にうちわ300枚配布。
9月8日(土)	市総合体育大会ハンドボール競技	参加者にえんぴつ、消しゴムセット200セットを配布。
9月30日(日)	緑ヶ丘ふれあいセンター まつり	市内団体「シャインキッズ」がゆりーとダンスの披露。えんぴつ、消しゴムセット100セット・うちわ100枚配布。
10月8日(月)	みんなの体育館	来場者にティッシュ200個・うちわ200枚配布。
10月13日(土)	テマリ第2保育園運動会	園児によるゆりーとダンスの披露。保護者へうちわ300枚配布。
	えんとつフェスティバル	小平・東大和・武蔵村山の国体担当によるPR活動を行った。ボールペン100個・うちわ100枚を配布。
10月14日(日)	地区ふれあいスポレク大会	スポレク大会で、ゆりーとダンスの披露。えんぴつ、消しゴムセット400セットを配布。
10月20日(土)・21日(日)	デエダラまつりでのPR	国体ブース及び「ゆりーとダンス」等の紹介。応援メッセージを書いてもらった方エコバック500、ボールペン500、ウェットティッシュ500、クリアファイル500、うちわ500を配布。
11月11日(日)	ゆりーとダンスフェス in イオンモール	イオンモールで、市内ダンスチームによるダンスフェスティバルを開催。ゆりーとダンスを披露し、観覧者へウェットティッシュ800枚配布。
11月17日(土)・18日(日)	Foodグランプリ	国体PRを行い、エコバック1000枚配布。
	東京都高等学校秋季 ハンドボール大会	大会参加選手へゆりーとキーホルダーを配布。

・気運醸成開催記念事業について

この事業は、第68回国民体育大会及び第13回全国障害者スポーツ大会（以下「スポーツ祭東京2013」という。）の開催気運を醸成し、またこれを永く記念するため、区市町村が行う気運醸成・開催記念事業について、東京都が補助金を交付するものである。この補助を使って、市内で多くの気運醸成事業を行った。

- ・市内循環バスラッピング
- ・市内ゴミ収集車マグネットシート
- ・ハンドボールゴール及び関係備品購入
- ・街頭フラッグ設置
- ・啓発のぼり旗作成
- ・啓発看板作成・設置
- ・歩道用啓発シール作成
- ・開催カウントダウンボード作成・設置
- ・ひまわりガーデンにおけるのぼり旗、看板作成・設置
- ・オリンピック招致とスポーツ祭東京2013の気運醸成を目的とした啓発物品の作成



報告事項4 協賛について

スポーツ祭東京2013武蔵村山市協賛取扱要項（平成24年4月6日第2回常任委員会決定）に基づき、募集した企業又は団体から大会の広報啓発又は運営に要する諸物品を協賛品としていただいた。

企業・団体協賛状況（平成24年11月1日現在）

団体・企業名	物品	数量	写真
映画「エクレール・お菓子放浪記」 武蔵村山市上映実行委員会	横断幕	1枚	
公益社団法人武蔵村山市シルバー人材センター	横断幕	1枚	
武蔵村山市ライオンズクラブ	看板	1枚	
国際ソロプチミスト武蔵村山	のぼり旗	60枚	
(有) アキヤマスポーツ	役員帽子	100個	

<p>社団法人武蔵村山医師会</p>	<p>飲料水</p>	<p>300 本</p>	
<p>J A東京みどり武蔵村山</p>	<p>のぼり旗</p>	<p>60 本</p>	
<p>東京武蔵村山ロータリークラブ</p>	<p>グラフィック ステッカー・横 断幕</p>	<p>一式</p>	
<p>武蔵村山市金融団</p>	<p>のぼり旗</p>	<p>20 本</p>	
<p>一般社団法人東京都武蔵村山市 歯科医師会</p>	<p>うちわ</p>	<p>1000 本</p>	
<p>株式会社ケイミックス</p>	<p>横断幕</p>	<p>1 枚</p>	
<p>株式会社新川</p>	<p>のぼり旗</p>	<p>60 本</p>	

渡辺電業株式会社	のぼり旗	60 本	
武蔵村山市体育協会	横断幕	2 枚	
武蔵村山病院	横断幕・うちわ	うちわ (1000 枚)	
武蔵村山市社会福祉協議会	横断幕	1 枚	
武蔵村山市商工会	横断幕	1 枚	
総合体育館 (フクシエンタープライズ)	看板・飲料水	飲料水 (750 本)	

東京経済大学	横断幕	1 枚	
株式会社天乃屋	横断幕	1 枚	
武蔵 平成の間	のぼり旗	60 本	
武蔵村山市薬剤師会	のぼり旗	6 本	
東京ヤクルト販売(株)	飲料水	105 本	

協議事項 1 競技運営関係業務について

スポーツ祭東京2013に係る武蔵村山市が実施する競技運営関係事務について、スポーツ祭東京2013武蔵村山市競技運営計画（平成23年8月4日第1回常任委員会決定）に基づき、全国から参加する選手が十分活躍できるよう必要な事項を定め、円滑な大会運営を図る。

I スポーツ祭東京2013武蔵村山市競技運営要項（案）

1 目的

この要項は、スポーツ祭東京2013武蔵村山市競技運営計画（平成23年8月4日第1回常任委員会決定）に基づき、競技運営に万全を期するため、必要な事項を定める。

2 競技運営

- (1) 競技運営については、競技団体と緊密な連携のもと、業務分担を明確にし、合理的で効果的な運営を行う。
- (2) 大会運営については、幅広い市民参加を含む体制をつくり、合理的で有効的な運営を行う。

3 競技役員等の編成

役 職		選出母体
競技会役員	ハンドボール競技会の役員	国民体育大会開催基準要項第22条第2項に準ずる。※開催会場区市及び競技団体との協議。
競技役員	競技の審判員や競技会場内で運営にあたる人	第68回国民体育大会競技役員等編成基本方針に則り、協議団体及び開催区市との協議。
競技補助員	競技役員の補助員として、競技会場内で運営にあたる人	第68回国民体育大会競技役員等編成基本方針に則り、協議団体及び開催区市との協議。主に開催区市近隣中学校、高等学校の競技部員。
実 施 本 部	競技会係員	競技会場（コート）外で競技会の運営にあたる人
	競技会補助員	競技会係員の補助として、競技会場（コート）外で競技会の運営にあたる人
	事務局	国体推進室職員

4 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

「国民体育大会開催基準要項（抜粋）」

22 大会役員

(1) 大会役員は、概ね次のとおりとする。

名誉会長	文部科学大臣
会長	日体協会長
副会長	日体協副会長・専務理事、文部科学省スポーツ・青少年局長、開催県知事、開催県体育協会会長
顧問	日体協顧問・理事・監事・評議員、全国を統轄する各競技団体会長、都道府県体協等会長、文部科学副大臣、文部科学大臣政務官、文部科学事務次官、文部科学審議官、文部科学省官房長、開催県選出衆・参両院議員、開催県議会議長・教育委員長・公安委員長・市長会会長・町村長会会長・市議長会会長・町村議長会会長、開催県スポーツ振興審議会会長
参与	文部科学省大臣官房審議官(スポーツ・青少年局)・スポーツ・青少年局スポーツ・青少年企画課長・スポーツ振興課長、開催県議会議員・副知事・教育委員・教育長・開催県会計管理者・各部部长・警察本部長、開催県実行委員会常任委員、開催県体育協会副会長・顧問・参与
委員長	日体協国体担当理事
副委員長	日体協事務局長、文部科学省スポーツ・青少年局競技スポーツ課長、開催県実行委員会事務局長
総務委員	日体協国体委員会委員・担当事務局次長・担当部長・担当課長、開催県実行委員会事務局次長、開催県体育協会理事長又はこれに準ずる者、開催県体育主管課長
委員	日体協国体競技運営部会委員・事務局担当者、文部科学省スポーツ・青少年局担当官、開催県体育協会常務理事、JADA 事務局長又はこれに準ずる者、開催県実行委員会事務局の課長以上

(2) 競技会役員は、概ね次のとおりとする。ただし、公開競技においては、当該中央競技団体が開催関係機関・団体と協議の上、決定する。

名誉会長	会場地市町村長
会長	全国を統轄する競技団体会長
副会長	全国を統轄する競技団体副会長、会場地市町村体育協会会長、開催県競技団体会長、会場地市町村実行委員会事務局長
顧問	全国を統轄する競技団体顧問、都道府県競技団体会長、会場地市町村議会議長・教育委員長
参与	会場地市町村議会議員・教育委員・副市町村長・教育長・会計管理者・関係部長、会場地市町村体育協会顧問・副会長、会場地市町村実行委員会常任委員、開催県競技団体副会長・顧問・参与、会場地競技団体顧問・参与、全国を統轄する競技団体役員の中で特に必要と認められた者
委員長	全国を統轄する競技団体理事長又はこれに準ずる者
副委員長	会場地市町村実行委員会事務局次長、会場地市町村競技団体会長、開催県競技団体理事長又はこれに準ずる者
委員	全国を統轄する競技団体理事、開催県競技団体理事、会場地市町村競技団体副会長、会場地市町村実行委員会事務局各部長・各副部長、会場地市町村体育協会常務理事、JADA 事務局担当者又はこれに準ずる者

(3) 大会役員及び競技会役員は大会会長が委嘱する。ただし、公開競技における競技会役員は除く。

「第68回国民体育大会競技役員等編成基本方針（抜粋）」

2 競技役員等の種類、定義及び編成方法

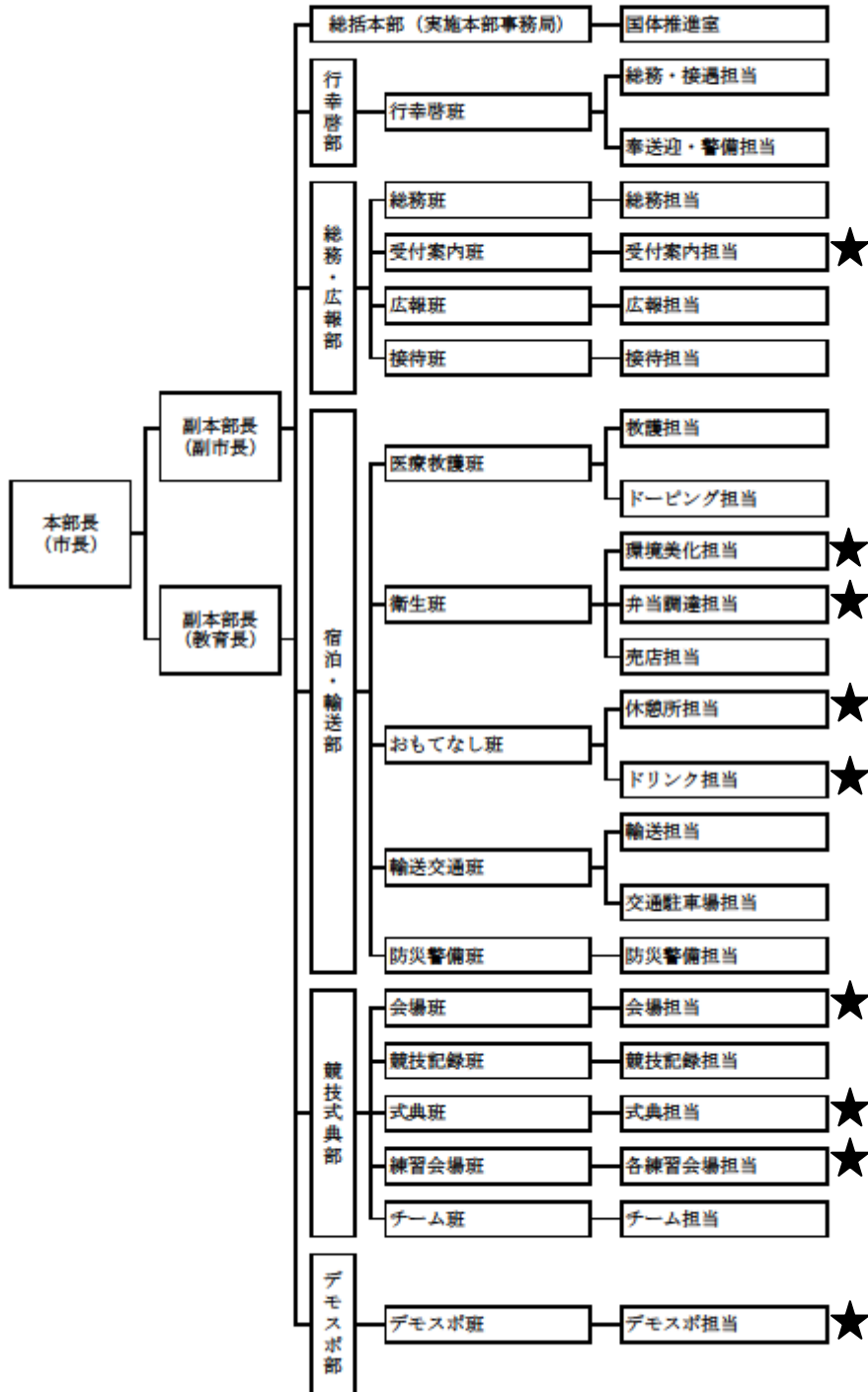
(1) 競技役員等の種類、定義及び編成方法は次のとおりとする。

種 類		定 義	編 成 方 法
競技会役員		国民体育大会開催 基準要項第22項第 2号に該当する者	要項に基づいて編成し、名誉会長・会 長・副会長・顧問・参与・委員長・副委 員長・委員とする。
競 技 役 員	運 営 員	直接競技の運営に 携わる者（審判員を 除く）	原則として、都競技団体関係者と会場地 区市町村関係者等をもって編成するこ ととし、必要に応じて中央及び近隣県競 技団体関係者を含めて編成する。
	審 判 員	競技の審判に携わ る者	原則として、都内有資格者をもって編成 することとし、必要に応じて中央及び近 隣県競技団体関係者を含めて編成する。
競技補助員		競技役員の業務の 補助に携わる者	会場地区市町村及びその周辺区市町村 に在住する当該競技関係者で編成する。
競技会係員		宿泊・輸送・接待・ 式典等の業務に携 わる者	会場地区市町村関係者等をもって編成 する。
競技会補助員		競技会係員の業務 を補助する者	会場地区市町村及びその周辺区市町村 に在住する者で編成する。

武蔵村山市実施本部の組織編成（案）

(1) 組織図

スポーツ祭東京2013武蔵村山市実施本部組織図



★ ボランティア配置

(2) 実施本部の事務分掌

部	班	担当	事務分掌
総括本部		国体推進室	<ol style="list-style-type: none"> 1 実施本部の総括及び業務全般 2 関係機関及び関係団体との連絡調整 3 緊急事態への対応 4 行幸啓及びお成り 5 その他、他の部に属さないこと
	行幸啓部	行幸啓班	総務・接遇担当
			奉送迎・警備担当
総務・広報部	総務班	総務担当	<ol style="list-style-type: none"> 1 実施本部事務局、各班、競技団体等との連携調整 2 運営用物品の調達と管理 3 緊急時の対応 4 迷子などの対応 5 遺失物・拾得物の取り扱い 6 入場者数の把握 7 他の係に属さない業務
	受付案内班	受付案内担当	<ol style="list-style-type: none"> 1 選手・監督・競技役員受付所の設営・運営 2 来賓・大会役員・視察員の受付 3 支給物品（プログラム・IDカード等）の整理、管理 4 遺失物・拾得物の受付 5 迷子の保護 6 観客案内業務 7 競技・交通等に関する案内
	広報班	広報担当	<ol style="list-style-type: none"> 1 記録写真等の撮影 2 記録写真等の保存 3 報道員等への受付・対応
	接待班	接待担当	<ol style="list-style-type: none"> 1 招待者・来賓・役員の接待 2 招待者、来賓の弁当配布 3 歓迎アトラクション団体の受付、誘導

宿泊・輸送部	医療救護班	救護担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 救護所の開設準備 2 待機場所の確認 3 傷病者発生への対応 4 医療機関へ移送への対応
		ドーピング担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 ドーピングに関する対応 2 関係機関との調整・対応
	衛生班	環境美化担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 体育館周辺の環境美化 2 集積所の管理 3 体育館周辺の歓迎装飾の管理
		弁当調達担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 弁当引換所の健康管理 2 弁当引換所の開設 3 弁当の確認 4 弁当の引換 5 弁当ガラの回収
		売店担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 売店の設置 2 売店の管理指導 3 保健所の対応
	おもてなし班	休憩所担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 休憩所の設置及び管理運営 2 休憩所の湯茶等の提供 3 提供品の検収及び管理 4 その他、休憩所で行うこと
		ドリンク担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 ドリンクコーナーの設置及び管理運営
	輸送交通班	輸送担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 輸送計画の運行管理 2 バス利用者の案内、誘導
		交通駐車場担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 車両および歩行者の交通整理 2 駐車場の誘導・整理 3 駐輪場の誘導・整理 4 緊急車両進入の確保
	防災警備班	防災警備担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 関係者以外立入禁止区域の警備・誘導 2 看板等の管理 3 巡回業務 4 火災発生時初期消火 5 消火器具等配置場の確認

競技・式典部	会場班	会場担当	<ol style="list-style-type: none"> 1 体育館内での一般観覧者、応援団（計画応援含む）等の案内、誘導 2 体育館内の清掃等 3 体育館内の歓迎装飾等の管理
	競技記録班	競技記録担当	<ol style="list-style-type: none"> 1 競技結果の収集 2 都の大会記録本部との調整 3 記録速報の対応 4 競技役員との調整
	式典班	式典担当	<ol style="list-style-type: none"> 1 式典全般の運営および進行管理 2 式典会場の設営撤去 3 式典アナウンサー、演奏者等式典出席者の案内誘導 4 表彰に関する対応 5 筆耕(パソコンからのプリントアウト)に関する対応 6 歓迎アトラクション等の対応、進行 7 ゆりーと着ぐるみの担当
	練習会場班	市立第五中学校担当 都立武蔵村山高等学校担当 東京経済大学村山校舎担当	<ol style="list-style-type: none"> 1 練習会場の管理 2 競技会場との連絡調整 3 練習会場の美化 4 練習時間の管理、選手の誘導 5 練習会場の車両等の整理
	チーム班	チーム担当	<ol style="list-style-type: none"> 1 チーム入宿前及び滞在中の日程等確認業務に関すること 2 競技会場、練習会場への案内・誘導に関すること 3 チームと各班との連絡調整に関すること 4 チームの接伴に関すること
デモスポ部	デモスポ班	デモスポ担当	<ol style="list-style-type: none"> 1 ウォーキングの大会運営 2 瑞穂町との調整 3 車両等の誘導管理 4 参加者の管理運営 5 会場までの輸送や誘導 6 デモスポの式典関係の業務

協議事項 2 式典関係業務について

I スポーツ祭東京2013武蔵村山市式典実施要項（案）

1 目的

この要項は、スポーツ祭東京2013武蔵村山市式典計画（平成23年8月4日第1回常任委員会決定）に基づき、武蔵村山市の開催方針・実施目標に基づき、多くの市民参加と協力のもと、東京都、共催区市、競技団体及び関係機関等との緊密な連携を図り、簡素・効率的に実施する。

2 式典の種類

大会において実施する式典は、オープニングセレモニー、表彰式及び炬火イベントとする。

3 式典運営

(1) オープニングセレモニー

市民の参加と協力により、温かいおもてなしで迎え、参加選手のコンディション及び競技運営に支障がないよう競技団体等の協力を得て、簡素・効率的に実施する。

(2) 表彰式

競技団体及び関係機関等と協議し、選手の健闘を心から讃える式典となるよう配慮して下記のものを実施する。

「第5位表彰式」

「種別表彰式」

(3) 炬火イベント

炬火イベントは、本市の実情にあった計画を策定し、広く市民の参加を得て実施する。

4 式典音楽

式典音楽は、原則CDやテープを活用する。

5 その他

この要項の定めるもののほか、式典実施に関し必要な事項は、実行委員会事務局長が別に定める。（児童・生徒による演奏等の出演がある場合は、学校教育活動との関連を十分に配慮する。）

炬火イベント基本方針と各区市町村の準備の進め方について

(スポーツ祭東京2013実行委員会)

1 目的

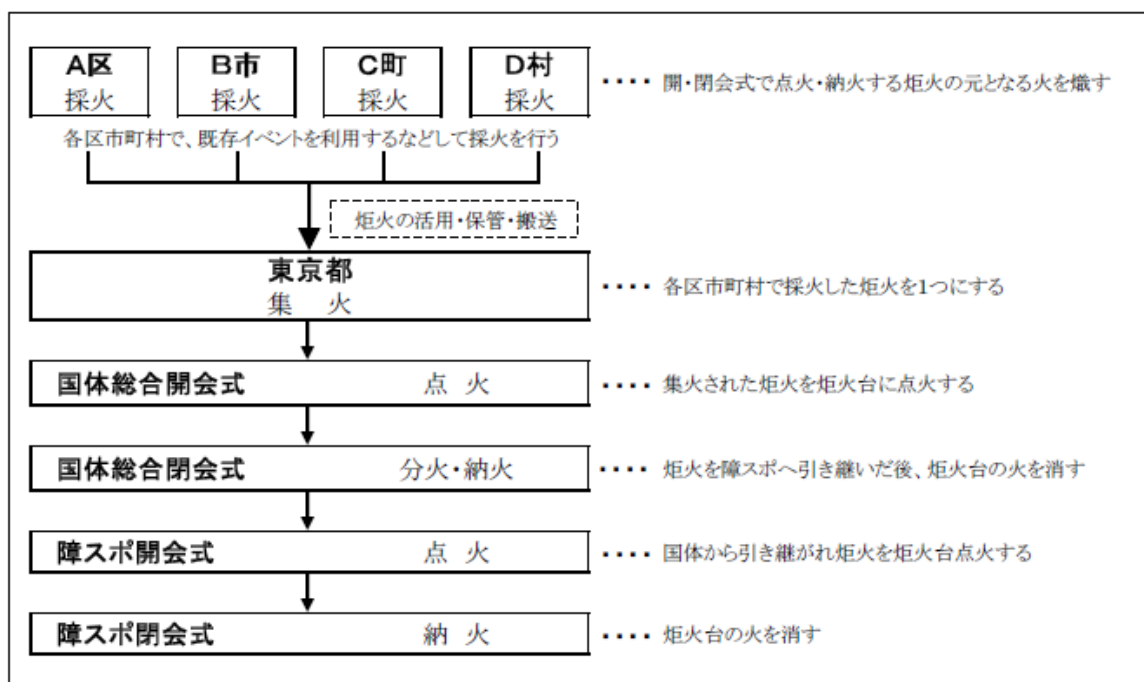
第68回国民体育大会及び第13回全国障害者スポーツ大会の炬火は、両大会が、スポーツの夢と感動を伝える一つの祭典であることを象徴するとともに、東日本大震災からの復興を祈念し、開・閉会式会場の炬火台に点火するものとします。

このため、これに先立つ炬火の採火等に係るイベントは、地域の連携や人との絆を深めるとともに、広く都民の間に開催機運を醸成し、スポーツへの国民的共感を生み出していくことを目的とし、実施します。

2 用語の定義

- 炬火・・・会期中、選手の活躍を見守る火であり、オリンピックでいう聖火にあたるもの
- 採火・・・炬火の元となる火を熾すこと
- 集火・・・各地で採火した炬火を集め、1つにすること
- 分火・・・炬火を複数に分けること
- 点火・・・炬火台に火をつけること
- 納火・・・炬火台の火を消すこと
- 炬火台・・・式典会場における炬火の点火場所であり、オリンピックでいう聖火台にあたるもの

3 開・閉会式までの流れ



4 炬火イベント実施の考え方

1 炬火の取扱い

炬火は、第68回国民体育大会及び第13回全国障害者スポーツ大会を通じて一つのものとして取り扱う。

第68回国民体育大会及び第13回全国障害者スポーツ大会の炬火は、第68回国民体育大会総合開会式において点火した炬火を、総合閉会式において第13回全国障害者スポーツ大会に引き継ぐことによって、両大会を通じて一つのものとしていきます。

そのため、各区市町村におかれましても、両大会共通の炬火と捉え、炬火の採火や活用を実施してください。

2 炬火の採火

炬火は、平成25年度に、以下の各区市町村において採火する。採火した炬火は、各区市町村が保管する。

- ・第68回国民体育大会の正式競技及び公開競技の会場区市町村
- ・第13回全国障害者スポーツ大会の正式競技の開催区市
- ・上記以外で採火を希望する区市町村等

3 採火の活用

採火した炬火は、各区市町村が実施するイベント等で活用することができる。

- (1) 炬火の採火及び活用は、平成25年4月以降に実施してください。
- (2) 炬火の採火及び活用にあたっては、各区市町村が主体となり、既存のイベントや各種行事を利用したり、採火のためのイベントを新たに実施するなど、地域の特性を生かしながら、スポーツ祭東京2013の開催機運の醸成が図られるよう、実施してください。なお、平成25年度に、各区市町村において実施する炬火イベントの概要について、スポーツ祭東京2013ホームページに掲載する予定です。
- (3) 炬火の採火及び活用は、各区市町村において、複数回実施できるものとします。ただし、この場合にあっては、集火式までに一つの炬火に集火してください。
- (4) 炬火の採火及び活用は、複数の区市町村により、合同で実施できるものとします。なお、合同で採火した場合にあっては、採火した炬火をそれぞれの区市町村に分火してもかまいません。
- (5) 採火した炬火は、集火式までの間、各区市町村で保管してください。なお、保管方法としては、ハクキンカイロ等を活用した種火での保管でもかまいません。
- (6) 炬火の採火、活用及び保管にあたっては、イベント担当部署や施設管理者、所轄消防署等関係機関と調整のうえ、安全で円滑な実施が図られるよう配慮してください。

4 炬火の集火

採火した炬火を1つにするため、都が集火式を行う。各区市町村は炬火を集火式会場まで搬送し、集火式に参加する。

- (1) 集火式は、国民体育大会総合開会式内で実施することを予定しています。

- (2) 各区市町村は、採火した炬火を、国民体育大会総合開会式当日に、集火式会場である味の素スタジアムまで搬送してください。なお、搬送にあたっては、ハクキンカイロ等を活用した種火の搬送でもかまいません。
- (3) 集火式では、各区市町村において選出いただいた代表者の方に参加していただき、炬火を1つにします。

5 炬火リレー

各区市町村は、当該区市町村内において炬火リレーを実施することができる。

- (1) 炬火リレーは、各区市町村が必要と認められる場合、当該区市町村内において実施できるものとします。実施にあたっては、各区市町村が主体となり、所轄警察署等関係機関と調整のうえ、安全で円滑な実施が図られるよう配慮してください。
- (2) 都が主催する各区市町村をつなぐ大規模な炬火リレーは、原則として実施しません。ただし、複数の区市町村が同意をした場合、当該区市町村が主体となり、それぞれをつなぐ炬火リレーを実施できるものとします。

5 財政的支援

炬火の採火及び活用等で必要となる経費については、先催県同様、補助金の交付を検討しています。なお、補助金額等の詳細については、今後、関係各課と調整のうえ、決定していく予定です。

6 炬火用具の整備

炬火の採火及び活用等で必要となる基本的な用具については、平成24年度に都が整備を行い、炬火の採火を実施する各区市町村に配布します。デモンストラーションとしてのスポーツ行事のみを実施する区市町村についても、採火を実施していただく場合には、同様に配布します。

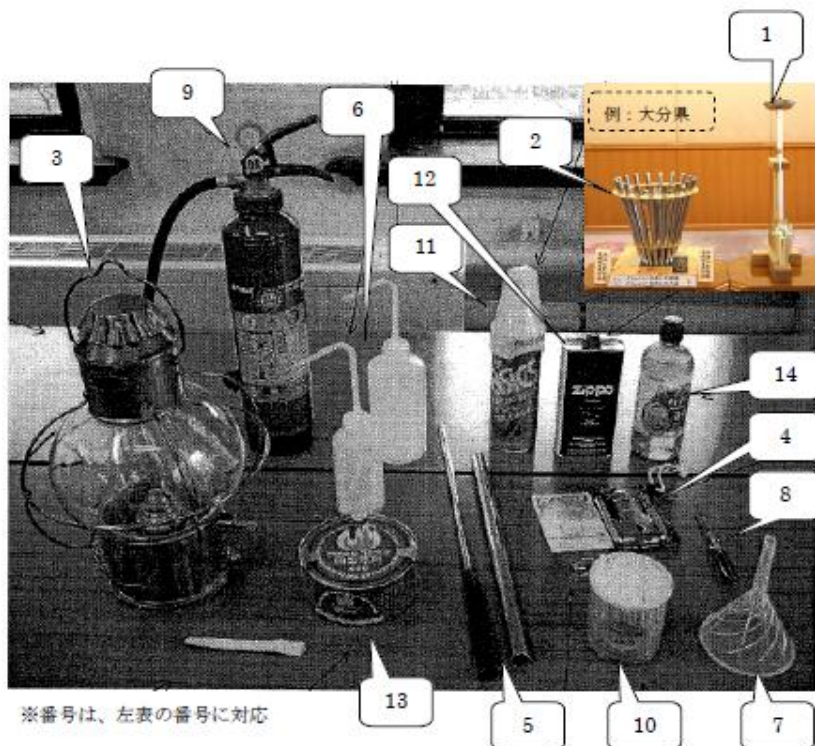
【配布予定の炬火用具等】

物品名		数量	備考
用具	1 炬火トーチ (オリジナルデザイン)	2本	炬火を灯して持ち運ぶ器具
	2 炬火受皿 (オリジナルデザイン)	1台	採火式等で炬火を灯しておく器具
	3 安全灯 (ポートルンプ)	1台	炬火の搬送、展示等で炬火を長時間灯しておく際に使用する器具
	4 ハクキンカイロ	2個	炬火の種火を保存し、炬火の搬送、保管等で使用する器具
	5 採火棒	1本	安全灯から炬火トーチへ炬火を移す際等に使用する器具

	6	洗浄ビン	1本	炬火トーチ等へ燃料を注入する際に使用
	7	漏斗 (ろうと)	1個	安全灯等へ燃料を注入する際に使用
	8	プラスチックドライバー	1本	炬火トーチへ燃料を注入する際に使用
	9	消火器	1本	火災発生時の初期消火用
	—	タオル	1枚	トーチ消火の際に濡らして使用
	—	軍手	1足	職員の作業用
消耗品	10	綿棒	1箱	ハクキンカイロに保管した種火を熾す際に使用
	11	酸素缶スプレー	1個	ハクキンカイロに保管した種火を熾す際に使用
	12	液体燃料	2本	トーチ、採火棒用の燃料
	13	固形燃料	2個	炬火受皿用の燃料
	14	ハクキンベンジン	2本	ハクキンカイロの燃料

【参考：区市町村が準備する主な物品】

物品名	備考
採火用具	採火に必要なマイギリ等
灯油	安全灯 (ボートランプ) 等の燃料
10から14の消耗品不足分	



先催県での炬火イベントの様子（イベント記事）

○おいでませ！山口国体（山陽小野田市）※平成23年



山口国体の開催100日前を記念した炬火（きょか）イベントは19日、市内各所で炬火の採火式、リレー、集火式があり、市民約1000人が参加して、本番まで3カ月余りのカウントダウンに入ったスポーツの祭典に、心を躍らせた。炬火名は、市内烏帽子岩の会社員、高田清明さん（60）が応募した「がんばろう絆でつながる山陽小野田希望の火」に決まった。

炬火イベントは山口国体・山口大会の市実行委員会が主催。競技開催会場となる山陽国際ゴルフクラブ、県立おのだサッカー交流公園、市野球場の3カ所で、木の棒をくぼみのある板に密着して回し、摩擦熱で火をおこす舞錐（まいぎり）式で、オリンピックの聖火に当たる国体の火を採火した。

県立サッカー交流公園では少年野球チーム、小野田ドラゴンズの小学生28人が見守る中、ボーイスカウトが火をおこし、黄色い火がトーチにつくと歓声が上がった。午前10時に同チームのメンバーがトーチを先頭に、広げた国体旗と共に小野田工高の小野田南コース第1中継地までの区間を走った。沿道からは誇らしげに走るランナーに「頑張れ」と声援が送られた。

炬火は小野田北、同南、山陽北、同南の4コースをリレー。山陽地区の火は一つにまとめられ、市内を回った三つの炬火は午後0時40分、市民体育館に集まった。

10月1日に山口市で開かれる山口国体総合開会式で“山陽小野田市の火”としてトラックを走る第1炬火ランナーに決まった元高校教師、村上文男さん（63）＝厚狭成松＝の持つトーチの一つにまとめられ、それが炬火台にともされると館内は大きな拍手に包まれた。

実行委員会会長の白井博文市長は「リレーにはスポーツ少年団の子供たち600人が参加し、炬火をつないでくれた。今までは準備段階だったが、きょうからは本番の始まり。市民挙げて大会を盛り上げていこう」とあいさつした。

炬火名は51点の応募から選ばれた高田さんの作品で、厚狭水害、東日本大震災は命や財産を奪ったが、支え合うこと、絆の大切さを教えてくれたとの思いが込められている。

この日、採火された炬火はランプに入れられ、9月末まで市役所1階ロビーに展示される。

○ゆめ半島千葉国体（柏市）※平成22年

あと2ヶ月に迫った、ゆめ半島千葉国体。7月6日（火曜日）に東京大学の最先端プラズマ実験装置を利用して採火された炬火（きょか）が、イベントと柏まつりで披露されました。

7月23日（金曜日）には、東京大学柏キャンパスで採火イベントが行われ、市内の中学・高等学校等約100人が参加しました。

柏市の炬火名は「未来を照らす柏の火」に決定。柏日体高の桜井駿さんと堀江冬海さんによって運ばれた炬火が、命名者の市立柏中の鈴木健司さんと秋山市長に渡され、受け皿に点火されました。

7月25日（日曜日）には、柏まつりのオープニングパレードで、58人の子どもたちが炬火や国体の旗を掲げて行進しました。

未来を拓く科学が作り、未来を担う子どもたちが運んだ柏の炬火が、国体会場を照らします。



○トキめき新潟国体（小千谷市）※平成21年

8月22日（土曜日）、総合体育館を中心に、トキめき新潟国体の「小千谷市炬火（きよか）採火式」「小千谷市大会旗・炬火リレー」が行われました。炬火とは、オリンピックでの聖火にあたるものです。

この日は、総合体育館のコミュニティプラザステージ上で、巨大マイギリ（火おこし器）を使い炬火がおこされ、採火されました。採火された炬火は、一般公募による60人のリレー走者に引き継がれ、市内6箇所を中継しながら4.2キロメートルをリレーされ、総合体育館で炬火台に点火されました。

